



写真1（斜面を立体庭園として再整備）



写真2（一般的斜面を放置すると土砂崩壊や雑草で被覆される）【参考例】



写真3（法面に花木を植栽するため、土壌内部に浸食制御材を設置）



写真4（法面保護と維持管理を兼ねた枕木管理道）

アピールポイント

- ・急峻な法面の保護や管理機能性を高めると共に集合住宅の前庭として造園修景を提案した。
- ・斜面地を立体庭園として活用するため、法面保護を兼ねた管理道を骨格に樹木や地被類による植栽地を形成した。
- ・法面を出来る限り早期に被覆して雑草を抑制し、四季を楽しめる地被類(タイム・ロンギカリス、ビンカミナル等)を植栽した。
- ・四季を彩る花木(オカメザクラ、シテコフシ等)を斜面植栽するため、土壌内に浸食制御材や土留めを行い立体庭園を創出した。

部門

- ☒ 造園工事
- ☐ 植物管理
- ☐ 公園等の管理運営
- ☐ 業務改善・効率化

創意工夫
アイデア
の題名

四季を彩るゆたかな法面立体庭園の創出

2025年度 全国1級造園施工管理技士の会（一造会）
すてきな造園空間をつくった創意工夫・アイデアコンクール

No.

14

応募者1

(設計監理技術者)

応募者2

(施工管理技術者)

その他
応募者

取り組み時期

2023 年 9 月 ~
2024 年 2 月

現場の
所在地

愛知 県
名古屋 市

撮影日

2023 年 11 月

2025年度

補助説明資料



写真1 (多様な植栽により深みのある緑地を創出)



写真2 (法面を彩る多様な地被類が地表の崩壊を防ぎ変化を演出する)



写真3 (地形に合わせた枕木階段が庭園景観に奥行きを与える)



写真4 (複雑な地形を活用した立体庭園が多彩な表情をつくる)

補助
説明文

・法面は集合住宅と隣地との間の高低差のある余剰地であり、複雑な形状を庭園として活用している。
・多種多様な高木と地被類を植栽し、四季折々の多彩な表情を生み出している。
・集合住宅の各戸より楽しめる立体的な庭園は各階によって表情が変化する。

取り組み
時期

2023 年 9 月 ~
2024 年 2 月

撮影日

2023 年 11 月